

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー・月信
1991・2・15 No.9

国際ロータリー 第276地区
DISTRICT 276

RI 会長/ PAULO V. C. COSTA
RI 理事/ 蔵 並 定 男



ロータリーを高めよ

思いを尽くし熱意を尽くし

1990—1991年度
国際ロータリーのテーマ



毎年冬にはたくさんの渡り鳥が飛来する(岡崎市菅生川にて)

2月のことば 料 峭（世界理解月間）

R I 第276地区ガバナー

中 村 繁 男



各クラブ会長・幹事の皆さん。ロータリアンの皆さん。

「料峭の候」という気候のあいさつがあります。この言葉は東風の肌にうすら寒く感じさせるさま、同じ寒さでも春の暖かさに心を寄せる意味を含んでいます。いずれにしても、暦の上では明らかに春ですが、まだまだ春風というにはつめたすぎる風が吹きまわっております。

コスタ会長から、地区大会へ会長代理として、伊藤義郎（札幌RC）を派遣する旨、正式な書簡が参りました。伊藤氏は元RI理事で、現在RI財務委員、R・財団トラスティという重要な地位にあり、当地区を見て頂くには最高最適の方であると信じます。

2月は「世界理解月間」、23日のロータリー創立記念日は「世界理解と平和の日」です。米山梅吉訳の「ロータリーの理想と友愛」を読み返してみましょう。「シカゴより何の善きものか出すべき」の項には当時のシカゴの様子が次のように記されています。「場末の裏町に至っては、心のうずくような貧困の光景がずい所に目撃された。職は最少限に減じてしまい、スープ店が至る所に出来た。市の公会堂より巡査派出所に至るまで、公共建物は一せいに寒い夜を家なき男女や子供らに提供するため徹夜開放された。獄舎は肩を動かさきれぬまでに充満した。ただそこにつながるために軽罪を犯すものすら多かったのである。いかにして出獄するかというより、いかにして入獄するかが問題であった。」このような情勢のなかで、1業種1会員を原則として、シカゴRCが発足しました。そ

して会員間の「相互扶助」を成功させ、やがて職業奉仕・社会奉仕の概念を育てていったのであります。「1905年のシカゴRCの会員は飽くまで友好を尊重した故をもって、彼等の間に宗教上及び政治上の議論は友好を妨害するおそれありとして、これを禁じていたことが、後になって非常に有意義であったことを証明した。」「共通の仕事に協力せよ、意見同じからざる問題はこれを避けて敢えて論議するなかれ、然らばわれらは友愛をもって報いられるであろう。これは集団の一層大なるを致すほど益々採用されねばならぬ教程であった。」このP・ハリスの述懐は、そのあとの第2次世界大戦や、現在の湾岸戦争をめぐるロータリー諸国のロータリアンの考え方につながっています。歯がゆい思いはありますが、国際ロータリーの国際情勢、あるいは戦争に対する考え方は、今もこの通りであろうと信じます。戦争の起こらないような世界を作ることが、私たちの仕事であることを、ロータリアンは自覚すべきでしょう。

1月16日、刈谷知立クラブが、刈谷クラブをスポンサーとして生まれました。会長は三河三弘法遍照院主の横井杲鈴君で、宗教人が初代会長ということも意味がありますが、知立市というロータリーの空白地帯を埋めたいという地区の念願を叶えてくれたことが、最も大きな収穫であります。特別代表の鈴木孝平君、刈谷クラブ会長の宮田千俊君はじめ、スポンサークラブの人々のご尽力で新クラブが着実に発展してくれることを心から祈るものであります。因みに創立会員は31名でした。

1月29日、故川瀬保PGの大同グループによる合同葬が日泰寺で行われました。このことにつきましては、別のところで詳述させて頂きましたので、省略させて頂きます。

さて、IMについてご報告しなければなりません。岩崎君（尾張中央）のRIの財政についての質問には、本年度は順調にしているようで、昨年度の収支監査報告書も近く出ると思うとお答えしました。元々、RIは各クラブに対し会計報告の義務があります。過日のR.研究会でも、ガバナー会議でもよく依頼しておきました。荒川君（半田南）は「ロータリークラブは灯台の灯」のようなもので、遠くを対象とすることも必要であるとともに、地域へのサービスもしなければならないと主張されました。また「I SERVE」か「WE SERVE」かに触れ、個人とクラブを超えて、「超我の奉仕」の実践を要請されました。

P. ハリスは「I WILL」というシカゴ魂という言葉を使っていますが、奉仕の意志のあるロータリアンを育てることが、ロータリーの目的のひとつであることに思いを至すべきでしょう。岡本君（高浜）は出席率の向上は必要であるが、100%クラブの表彰は必要かどうか、何故ならそのための出席強制になりかねないと、

痛いところをつきました。P. ハリスは「出席率が7割に達せぬクラブは資格に不足をきたしたもの」「例えば250名の会員を擁し、年52回の会合を連年継続する間、常に9割5分余の平均出席率を維持する如きクラブは真のロータリークラブである。」「平均出席率が高くなければ重要な目的を遂行し得ない。」等の言葉をのこしています。日本のロータリー、ことに当地区では100%を理想的基準としておりますが、岡本君の指摘するように、無理があってはなりません。とに角、本年も地区大会で昨年度の100%、14クラブを表彰することになるでしょう。堀川君（豊田三好）はチャーターナイトを通じて、組織の中における奉仕のための団結を学んだと発表され、大久保君（岡崎南）は例会の早退はビジター、会員共に好ましくないと意見を述べられました。或る地域では「3悪」追放キャンペーンが行われています。「3悪」とは無連絡欠席、例会早退、卓話中の私語を云います。ほんの一部ではありますが、ロータリー・クラブがこのようなことをしなければならないことは恥ずかしいことで、皆さんの自覚にまつ外はありません。

4月は「雑誌月間」であります。雑誌委員長はPR準備をよろしくお願いします。

1992年規定審議会について

3年に一度開催されます、規定審議会が1992年1月21日～24日に亘り米国に於いて開かれます。

規定審議会は国際ロータリーの立法機関であり次の立法案を審議します。

制定案……国際ロータリー定款・細則および標準ロータリークラブ定款を改正する案件

決議案……組織規定を改正することではなく、単に意見を表明するとか、国際ロータリーの方針または、手続きを設定したり、廃止したりする案件

つきましては、各クラブ、地区大会は立法案を提出する権利がありますので、立法案を提出

しようというクラブは下記期限までに事務総長宛送付願います。

尚、写し一部をガバナー事務所へお送り下さい。

1. 制定案

1991年5月1日までに事務総長宛必着。

2. 決議案

1991年12月22日までに事務総長宛必着。

3. その他

(1) 「規定審議会」についての詳細事項は「手続要覧」1989年度版の第13章規定審議会P131～135を熟読下さい。

(2) 規定審議会への「クラブの代表議員」は平成3年4月の地区大会に於いて皆様にお諮りする予定です。



決議23-34について (D279ガバナー月信・第7号より)

R I 第279地区ガバナー 平 塚 新兵衛

「みなさまが23-34の決議に対して、非常に関心が高いことがよくわかりました。ただ、申しあげたいことは、それをなくしようとか、消滅させようということでは決してございません。要するに、手続要覧での取り扱い方の問題です。私個人の気持ちとしては、23-34をより強化することと考えます。社会奉仕は、23-34から発するということによろしいのですが、これはロータリーの奉仕の精神の基礎であります。」

12月8・9日の2日間、横浜市で開催されたアジア第1・第3ゾーン研究会で、ラジェンドラ・K. サブー国際ロータリー会長エレクトは菅野元RI理事の提案に対し、決議23-34に対しての見解をこのように述べられました。

菅野氏は「決議23-34は日本のロータリーの精神的支柱であって、我々が奉仕活動をする際のよりどころであったことは事実である。反面、23-34が今後どのように我々の間でとり扱われるべきかを見る時、日本の11万のロータリアンの中で確実に23-34を覚えていられる方が10%おられるかどうか疑問である。23-34を確実に解釈出来る方は1%位ではあるまいか。

23-34が我々にとって、どのような価値を持つかについて、私自身疑問を感じているし、又これの存廃については賛否両論であるので、今後日本でどのように考えていくべきかということで、来年のゾーン研究会には、時間をかけて、ロータリーの世界を二分するような形でのパネルディスカッションをお願いしたい」と提案されたのです。

サブー会長エレクトは冒頭のことばにひきついて「しかしながらもう一度23-34に戻り、考えて見ますと1923年のことですから古くなっております。実際それをお読みになっていらっしゃる方はどう思われるか、私は読んで見ましたが、かなり長文で、しかも～をするなということが多く、～せよが少ないように感じました。1923年当時のロータリーのイメージと今日のイ

メージはかなり異なっております。故に私は現在23-34の決議よりも、より強い意味の決議が必要だと思います。昨年RI社会奉仕委員会で、23-34にとってかわるべき新しい決議案を作成いたしました。これはより強力な言葉で奉仕の必要を説いており、より時代に即応したものと思います。これはすでにRI理事会の承認を得、次の規定審議会に提出される予定です。RI理事会ではそれ以上直接的な行動は起こせません。なぜならば23-34は1923年の規定審議会で承認されたものですので、規定審議会において変更されるものだからです。1991年の終わり頃くわしい文章が皆様に配布されます。ぜひその時、それをお読みいただきますれば、みなさまのご意向もおそらく世界のロータリーと同じと思います。おそらくご満足のいく結果になることと存じます」と申されました。

新しい決議案がどのようなものであるかは現在わかりませんが、菅野氏が申されるように日本のロータリーの精神的支柱である23-34について、私はまず、地区内の会員のみなさまに決議23-34についての知識を持っていただきたい。そのために、地区のロータリー情報委員会にお願いして、23-34のわかりやすい解説をしていただき、それをクラブに流して、まず23-34のなんたるかを知っていただくようにしたいと考えております。もし、ご希望があれば、地区の情報委員をクラブへ派遣し解説をして頂くようにしたいと思います。そのあとで、クラブフォーラムやIM等で23-34が果たして現在のロータリーに必要なかどうか、おそらく賛否両論ありましようが、クラブとしての意見を集約していただきたいと思います。

いずれにいたしましても、まず決議23-34のなんたるかを知っていただくことが当面の最重要事ですので、あらゆる機会を通じて、クラブ内で、この問題についての活発なご勉強・ご討論をお願い申し上げます。

女性会員の抱負

一宮中央RCの3名の女性会員の方々に
入会の抱負を語って頂きました。



男女の協調を

川瀬千賀子

ロータリーが、初めて女性を受け入れ、その先陣を切って入会させて頂き、光栄に思う一方で責任の重さを感じています。まだロータリーについて何もわかっていないので、抱負といえるかどうかわかりませんが、私なりに感じた事を書かせて頂きます。人生五十余年生きてきますと家庭においても、仕事においても、いろいろ経験をし一種の悟りといおうか諦めといおうか、ひたすら前を向いて走って来て、ふと立ち止まり考える余裕を持たない時に入会出来て、本当によかったと思います。経験豊かな先輩と感性豊かな若い人達の間で、またいろいろ勉強させて頂き、その中で私自身の経験を生かせれば最高に幸せです。21世紀は女性の時代ともいわれていますが、私は男とか女とか肩を張らないで一人の人間として、お互いに認め合い啓蒙しながら、感性を研げたらロータリアンとして何か出来そうな気がします。時代的要求の中で、今後全国のロータリーに男女協調の空気が広がっていける新しい型を生み出す為に、私自身お使い頂けたらと願っています。

先輩の皆様よろしく御指導下さいますようお願い申し上げます。



女性としての 特性も

森 榮

一思いを尽くし熱意を尽くしー RIのテーマ「ロータリーを高めよ」のこの「ところ」を聞いた時、私の日頃の仕事に対する姿勢と全く同じであることに驚かされ、新しくロータリーの一員となり抱いていた一抹の不安を拭い去ることが出来ました。

ところで私は、この度一宮中央ロータリーの創立にあたり、愛知県で初めての女性会員として仲間に加えて頂き大変光栄に思っております。今まで仕事の上では男女平等の恩恵を受け、女性であることをそれ程意識しないでやって参りましたので、「女性」ということを余り強調されますと、むしろ困惑させられます。従ってロータリーに於いても、勿論女性としての特性を殺すことなく、一社会人として、一人の人間として運営に協力して行きたいと考えています。まず手始めとして今までの小さな井の中から飛び出した私としましては、様々の職業の方々と知り合えることを楽しみに100%出席をめざしたいと思っています。



地区最初の 女性会員として

林 倫子

平成2年10月31日、発足したばかりの一宮中央ロータリークラブのチャーターメンバーとして、入会させて頂きました。愛知県では、最初の女性会員ということで、動向が注目されておりますが、皆様の期待に応えられるよう努力したいと思っています。

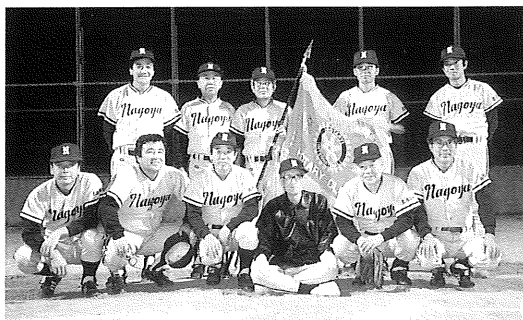
今、各界で女性の活躍ぶりは目ざましく、男女の性による職業の差別はほとんど解消されております。ロータリークラブでも、女性の入会が認められましたことは、時代の流れに即応した考え方として喜んでおります。

私は、クラブの一員として、女性特有の肌理細かなやさしさ、明るさを心がけ、楽しい雰囲気を持ったクラブ作りに心がけたいと考えております。

又、多種多様な業界の方々とのお話の中から、自分とは異なった見方があることを学び、自分自身を高め、ロータリーの基本理念である職業をとおしての奉仕を心がけたいと願っております。1年生ロータリアンとして、これから学ばねばならぬことの多さを痛感しております。よろしく御指導下さい。

R C野球大会に参加して

名古屋中RC野球部監督 河村 八郎



1969年10月、名古屋中ロータリークラブが誕生して本年は21年目になります。

当クラブでは趣味の同好会が非常に盛んで、最も古いゴルフ会の如きは、1970年1月に第1回コンペを開催、現在では全会員150名中100名以上がゴルフ会メンバーとなり、年10回開催のコンペには10組以上の参加があり、ゴルフ場のエントリーに幹事が大へん苦勞している状況です。その他、囲碁の会、麻雀同好会、グルメの会、うつるん会（写真）、マリソクラブ、そして野球部と多彩である。

野球部は1986年4月、無類の野球好きが集まって設立された。県内で4番目に設立された当クラブの野球部は現在30名のメンバーを擁し、最年長75才の総監督、60才の監督を始め平均年令49才の潑刺たる同好会である。

当276地区には現在、瀬戸北RC、豊田西RC、名古屋瑞穂RC、名古屋中RC、豊山城北RCの5チームがあり、毎年豊田西RCのお骨折りで春秋2回トーナメントを行っている。

昨年は春は都合により開催されず、秋は10月20日（土）に三好コミュニティ球場に於いて行われ、組合せにも恵まれ当中RCの優勝となった。

今回は好運にも勝利の女神が当中RCに微笑んだが、各チームの実力差はそれ程なく、その上練習量も少なく、しかも連戦ともなれば体力の差が出たのではないかと思います。

又、1982年から毎年甲子園に於いて、全国RC野球大会が開催され、本年は第10回大会が開催される予定である。昨年、当地区を代表して参加して敗退した雪辱を果たしたいと思っている。

地区大会RI会長代理きまる

伊藤 義郎（札幌RC）

経歴（抜粋）

早稲田大学政治経済学部 卒業

伊藤組土建株式会社 社長

伊藤組木材株式会社 社長

株式会社伊藤組 社長

株式会社札幌パーキングビル 社長

札幌国際ビル株式会社 社長

株式会社テレビ北海道 社長

北海道ゼロックス株式会社 会長

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社 会長

全日本空輸株式会社 監査役、北海道航空協会 会長

北海道建設業協会 会長

北海道スキー連盟 会長、国際スキー連盟 副会長

北海道自衛隊協力会連合会 会長

日本ビルデング協会 副会長

北海道心臓協会 理事長



札幌商工会議所 副会頭

日本赤十字社北海道支部 支部長

日本国際連合協会北海道本部 本部長

早稲田大学 評議員、札幌大学 理事長

札幌証券取引所 理事長

日本放送協会経営委員会 元委員長

日本オリンピック委員会 元常任委員

ロータリー歴（抜粋）

1957年札幌ロータリークラブ 入会

1968年札幌ロータリークラブ 会長

1977年 国際RI第251地区 ガバナー

1978年 国際RI世界親睦活動委員会委員

1981年 国際RIアジア地域諮問委員会副委員長

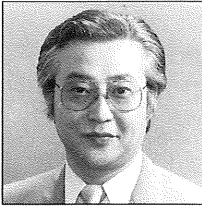
1982年 国際RIトロント国際大会委員

1986年～88年 国際RI理事

1987年 国際RI監査委員会委員長

1988年～91年 国際RI財務委員会委員

1989年～92年 国際RI財団管理委員会委員



童話とロータリー

名古屋東RC
木村 迪治
(雑誌委員長)

人は病の床に着くと、非常に弱気になるものだと思う。少なくとも数年前の私はそうだった。充分に治癒しないままに退院して、職場に戻ったのだが、疲れが速く、毎夜の通院加療が続いた。そういう生活が繰り返されると、そこはかとなく不安な気持ちが日増しに強くなる。そんな時、無償の健康を当たり前的事として働いていた頃の事が激しく頭の中に去来して止まなかった。

その中の一つに、息子の幼い頃の寝物語に創作話をしている自分の姿があった。そんな時、私は、私を慕ってくれる甥や姪たちに、その姿を写した。こんな事がきっかけで、子供向けの本を上梓した。もっとも、思い付きだけではなく、日頃から、心の奥底に持っていたものを何かの形で表現して見たかったことも理由の一つになる。それも、対象が子供以外に浮かばなかったのは、単に私が子供好きと言うより、難しい字句を知らないからに過ぎない。

近頃、テレビや漫画等の影響からだろうか、子供たちが過激な言動がカッコ良いのだと思い込んで真似ている姿を見ると悲しくなる。そして、子供たちの素直な心に毒を流し込んでいるような社会悪が平然と歩んでいるのを感じる時、哀れな時代代と思う。だから、私は「トックンとミッチィのたんけんマシーン」では、殴る、蹴る、殺す等の不穏当な言葉のない内容にこだわり、親子、兄妹のほのぼのとしたものが伝わればと考えた。

「そのごのももたろう」は、勸善懲惡の心と言えはカッコ良すぎる。まずは、ご一読願いたい。

テーマや粗筋はあっても、子供たちが消化しやすいように噛み砕いて表現することは難しい。しかし、良い勉強になると思うから続けている。

「ロータリーの友」誌（ロータリアンの著書）

欄に私の童話が紹介されてから、未だ見知らぬ友も増えた。文通の友、年賀の友等様々である。

その中の一人、中華民国台湾省・楊梅ロータリークラブの黃盛陽氏とお会いできた。（黃氏のことは、ガバナーズレターNo.4で、和合RCの井沢氏が詳しく書かれているので省略する）それは、1990年7月1日の楊梅ロータリークラブ授證13周年祝典に家内と共に出席する数日前の台北空港のロビーであった。祝典も間近で、会長として忙しい中を、私の名前の頭に歓迎と書かれた大きな白い紙をかざして出迎えて下さった。

祝典までの数日間は、台湾の最南端までの旅の企画斡旋を受け、お陰で楽しく見聞を広めることができた。

日本からは福岡の豊前RC11名、横浜東RC2名、名古屋和合RC11名、東RC6名、の総勢30名のゲストが出席した。これだけでも黃氏のお人柄が分かると思う。初めてお会いしたにも関わらず旧知の友のように会話が弾んだ。

その黃氏が、あれから1ヶ月後に来名したので万分の一の御礼でもと、名古屋市街を案内し、夕食を共にし、夜遅くまで飲み明かした。その時、彼は笑い話だと念を入れて語った話が胸のどこかに残った。要約すると次のような話だ…

戦後間もなく、食うや食わずで一生懸命仕事をして会社を設立し、今じゃ大会社になり、息子を専務としている或る会社の社長さんが、夜の街へ一人ぶらりと足を運んだ。社長さんの横に座ったホステスが耳もとに囁いた。

「社長さん！お久しぶりネ、ねえ、今夜はチップ沢山はずんでネ。専務さんは、いつでも気前よくチップくださるわヨ…」

当の社長さん、泰然として応えた。

「そりゃー、残念だ…。社長のお父さんは社長じゃないからなあ…」と…。――

――私には、含み多い話に聞こえた。童話と言うには、おこがましい私の愚作から、昨年のテーマ、エンジョイロータリーは今でも続いている。さて、今年度は、どのようにしてロータリーを高められるだろうか。

〔 歯医者さんが書いた童話の本 〕

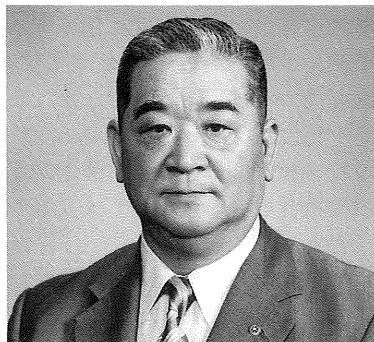
※木村迪治会員より「そのごのももたろう」と「トックンとミッチィのたんけんマシーン」ミリオン書房出版の2冊の童話をガバナー事務所へ届けて頂きました。「歯医者さんが書いた子

どもの本」、幼い子どもたちのために、何かお話をしあげたい、と云うほのぼのとした手づくりの童話の本です。是非共、ご一読をおすすめ致します。

ロータリーエッセイ 知多半島の酒

パストガバナー 田中 徹 (半田RC)

(註) 田中徹PG主宰の俳誌「酒」平成3年1月号より転載



私は下戸なので興味も薄かったが知多半島は昔は灘郷と並んで酒の醸造が盛んだった。又、知多木綿として織物も盛んだったし常滑を中心とした陶器も作られ、それらを運ぶ海運も盛んであった。

この知多には元禄年間には造り酒屋が何んと114軒もあり、うち59軒が半田にあった。当時の酒はアルコール度が強く江戸と灘の中間に位置していたので中国酒と言われ、安くてアルコール度が強いので江戸っ子気質に受け入れられて江戸では灘より評判がよかった。然し現在は造り酒屋は半田に3軒あるのみである。

敷島の醸造元の伊東合資は創業天明年間で今も200年前の酒倉が並んでいる。当主の伊東さんは現在、半田商工会議所会頭で代々産業発展に貢献されている名家である。

伊東さんは新酒ができるとよくロータリークラブの例会などに持参され、私もその芳香をいただくのだが、昔は仕込みの温度調節に氷を使って大変な人手をかけたが今は機械化されて楽になったと言われる。吟醸酒は2年、大吟醸は5年も寝かせて出荷されるそうだが全図新酒鑑定会で金賞を獲得されている。

国盛はミツカンの中埜さんの会社で当主は代々、又左衛門の名を世襲している。中埜さんの先祖が食酢を造りはじめたのが文化4年、酒を造りはじめたのが弘化元年であるから酒造りは150年前である。

酢の方は国内は勿論、アメリカにも進出し、あれはもう十年も前だろうかサンフランシスコのロータリークラブ例会に出席、この時アメリカミツカンの社長(ご当主の次男)に大変ご厄介になりサンフランシスコ近郊のご自宅でパーティーを催していただいたことがある。

又、知多半島の伊勢湾側の小鈴谷には盛田さんの「ねのひ」がある。創業は寛文5年というから325年前という古い歴史がある。出荷は県下第2位、全国でも27位でご当主は15代目、ソニーの盛田さんである。酒作りの責任者は弟の盛田和昭さんで1989～90年度の国際ロータリー第276地区ガバナーを務められた。

又、南知多には富好があり南知多町長の内田恒助さんの蔵である。毎年、特別のお酒をいただきこれはお正月の屠蘇とし客に振舞っている。

この内海は酒や海産物を江戸へ運ぶ海運業として栄えた所で昔は千石船の船主が7、8軒あり内田さんもその1軒である。財政の苦しかった藩にお金を貸し前野家の埋蔵金の伝説は今も生きている。ともかく江戸との交流が盛んで唐人お吉の両親の墓は内海に現存している。

どうしてこの知多半島で酒作りが盛んであったのか、やはり江戸から明治にかけて良質の水が出ていた様で半田の酒の文化館には木材をくりぬいた水道の木管が展示されているが昔はその長さ7000メートルに及んだという。今は地質の変化で飲料水は愛知用水にたよっているが良質の水の湧出する断層は名鉄電車終点の河和駅近くで表在し、こんこんと水が出ている。この水が知多の酒を生んだのだろう。然し地層の変化は水から温泉に変わり地下1000米で食塩泉が湧出している。泉源ただ今、5ヶ所、酒どころが温泉地に変わった。

酒は良薬であるが一つ誤ると病的になりアルコール病として全身病のもとになる。

半田R C創立40周年記念事業

半田R Cは創立40周年を記念して

- ①ごんぎつねのふる里シンボルタワーの贈呈
- ②ごんぎつねのふる里ファミリーコンサートの2大事業を行います。

①については4月26日（金）半田常滑インター料金所南側でシンボルタワー贈呈式を開催。

②については6月2日（日）新美南吉の「びわの花」に作曲をし、ボニージャックスを招いてメルヘンコンサートを、半田市福祉文化会館大ホールで開催。

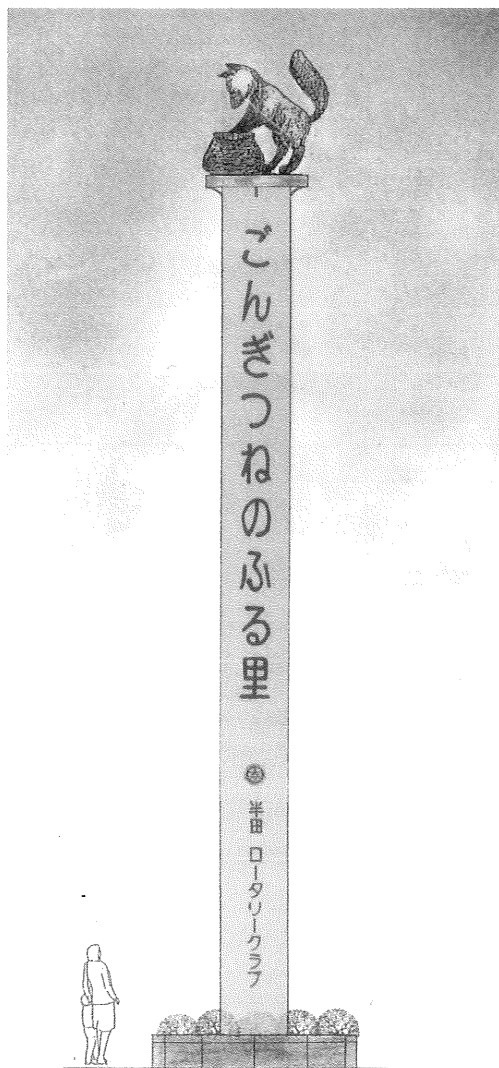
＜ごんぎつねのふる里シンボルタワー概要＞

- タワー本体、直径1.2M、全長約15M
アクリル樹脂塗装
- モニュメント、強化プラスチック（FRP製）

「ごんぎつね」新美南吉

新美南吉は、後期「赤い鳥」の童話作家と言われています。大正2年に半田で生まれ、中学2年のころ文学に目覚め、東京外語へ進み、文学修行に励みました。帰郷後は、安城高女に勤め、物語性のある郷土色豊かで心温まる作品を作りました。代表作の「ごんぎつね」は小学校の教科書にも入っています。

南吉は、29歳という短い生涯でしたが、童話100編、小説50編、詩童謡500編余、俳句、短歌などの作品を数多く残しています。



1989-90R I 会計監査報告書について

11月のRI理事会はRIの財務につき、「RIの1989-90年度以降の会計監査報告は英語で出版されることになりました。理事会は、各地区ガバナーがその会計監査報告を複写して、それを要請するロータリー・クラブに配布することを要請しています。」と決定しました。財政についてのハイライトは「友」にも掲載されることと思いますが、お急ぎの向はご一報下さい。（地区幹事）

R I 第276地区は全国第2位の会員数です

全国各地区のクラブ数と会員数

地 区	6 . 30 1990		9 . 30 1990		12 . 31 1990		
	クラブ数	会 員 数	クラブ数	会 員 数	クラブ数	会 員 数	女 性
250	65	3, 137	65	3, 185	65	3, 220	1
251	61	3, 914	61	3, 981	62	4, 057	6
252	76	3, 490	76	3, 494	76	3, 507	5
253	94	4, 632	94	4, 630	94	4, 683	7
254	77	3, 396	77	3, 397	77	3, 416	0
255	88	4, 808	88	4, 815	88	4, 878	7
256	80	4, 866	80	4, 292	80	4, 974	1
257	45	2, 591	45	2, 600	45	2, 588	1
258	57	4, 383	57	4, 426	57	4, 465	0
259	43	2, 742	44	2, 794	44	2, 833	0
260	46	2, 639	46	2, 663	47	2, 732	0
261	54	2, 972	54	2, 989	54	3, 006	2
262	72	4, 075	72	4, 123	72	4, 167	0
263	59	4, 003	59	4, 055	59	4, 114	0
264	59	3, 619	59	3, 644	59	3, 674	0
265	79	5, 882	79	5, 895	80	6, 015	0
266	71	5, 100	71	5, 127	71	5, 182	3
267	67	3, 617	67	3, 651	68	3, 713	0
268	66	3, 910	67	3, 973	67	3, 991	0
269	58	3, 709	58	3, 741	58	3, 765	0
270	57	3, 587	57	3, 660	57	3, 723	0
271	59	3, 615	60	3, 703	60	3, 571	1
272	69	3, 263	69	3, 350	69	3, 374	6
273	56	2, 953	56	2, 999	56	3, 032	0
274	47	2, 633	47	2, 685	48	2, 749	0
275	60	4, 997	60	5, 034	62	5, 155	0
276	65	5, 337	66	5, 410	67	5, 513	3
277	58	3, 283	58	3, 314	61	3, 349	13
278	59	3, 219	59	3, 314	59	3, 326	0
279	70	3, 900	70	3, 921	70	3, 917	5
小 計	1917	114, 263	1921	115, 502	1932	116, 869	61
グ ァ ム	3	201	3	203	3	199	15
サ イ パ ン	1	56	1	55	1	51	2
ミ ク ロ ネ シ ア	1	27	1	31	1	31	13
総 合 計	1922	114, 547	1926	115, 791	1937	117, 150	91

注) 会員数は男女を含みます。

グァム・サイパン・ミクロネシア連邦は275地区に所属します。

義 捐 金

1990. 12. 7. 現在
(ガバナー会当日配布資料より)

地区番号・ガバナー名	イ ラ ン 地 震			フ ィ リ ピ ン 地 震		
	9/14まで	9/15～11/30	合 計	9/14まで	9/15～11/30	合 計
250 七戸 幸夫	265,000	778,041	1,043,041		579,441	579,441
251 白石 欽一	3,307,550		3,307,550	3,475,050		3,475,050
252 狩野 壽一	1,866,985	54,000	1,920,985	1,884,500	53,000	1,937,500
253 佐久間有寿	500,000		500,000	1,500,000		1,500,000
254 浅水 逸郎	1,000,000		1,000,000	2,000,000		2,000,000
255 宅間美治雄	3,235,058		3,235,058	4,458,158		4,458,158
256 原 猛	2,449,000		2,449,000	2,353,000		2,353,000
257 飯野 行雄	2,499,000		2,499,000			
277 石井 治	2,414,500	10,000	2,424,500	2,544,500	10,000	2,544,500
258 加美山 節	5,320,500	21,500	5,342,000	4,571,500	21,500	4,593,000
275 秋山 一	4,478,104		4,478,104	4,789,430		4,789,430
259 鶴川 昇		1,415,777	1,415,777		2,589,413	2,589,413
278 古館 誠	1,982,600	110,431	2,093,031	2,076,500	23,500	2,100,000
279 平塚新兵衛	3,991,000		3,991,000	3,800,000		3,800,000
260 水野 春海	100,000		100,000	2,515,000		2,515,000
276 中村 繁男	4,646,000		4,646,000	4,537,600		4,537,600
261 四津谷仁朔	2,703,500		2,703,500	2,570,851		2,570,851
262 大石 益光	1,901,588		1,901,588	1,420,000	1,377,461	2,797,461
263 中川 和行	3,540,000		3,540,000	3,448,000		3,448,000
264 大丸 鑑明	2,951,069		2,951,069	2,872,900		2,872,900
265 中野 重宏	4,698,819		4,698,819	4,647,553		4,647,553
266 廣瀬勘一郎	4,087,982		4,087,982	4,675,100	▲240,000	4,435,100
267 佐々木善堯	3,000,000		3,000,000	2,890,000		2,890,000
268 深川 純一	3,692,872		3,692,872	3,704,293		3,704,300
269 岡本 貫夫	2,943,600		2,934,600	3,027,300		3,027,300
270 上野 正康	2,845,413		2,845,413	2,953,145		2,953,145
271 松井 五郎	2,663,250		2,663,250	2,744,250		2,744,250
272 大平桂士朗	1,408,000	485,000	1,893,000			
273 今林 重夫	2,011,314		2,011,314	2,294,561		2,294,561
274 内田 衍	1,974,243	112,000	2,086,243		62,000	62,000
合 計	78,467,947円	2,986,749円	81,454,696円	77,753,191円	4,476,315円	82,229,506円

↓
小切手 73,770,000円
9/10 イラン大使へ

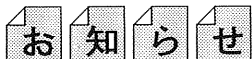
↓
9/17 RI日本支局へ77,753,191円送金
9/27 日本支局よりUS\$ 564,451.48
RIフィリピン 支局へ送金

おめでとう米山功労者・功労法人11月・12月

日 比 孝 一 (半 田 南)	木 納 隆 義 (犬 山)
明菱電機 (株) (あ ま)	田 中 栄 (犬 山)
平 林 金 隆 (東 知 多)	鷲 野 武 平 (犬 山)
森 恒 夫 (一 宮)	村 地 俊 二 (春 日 井)
宮 地 千 俊 (刈 谷)	小 川 充 盈 (春 日 井)
大 池 正 丸 (江 南)	(株) 東海銀行 (名 古 屋)
木 村 三千夫 (江 南)	伊 丹 寛 一 (名 古 屋 瑞 穂)
鈴 木 茂 孝 (江 南)	鈴 木 圓 三 (名 古 屋 瑞 穂)
加 藤 保 時 (名 古 屋 東)	中 川 啓 二 朗 (名 古 屋 瑞 穂)
末 岡 照 章 (名 古 屋 東)	岡 田 庸 男 (岡 崎 南)
高 村 博 三 (名 古 屋 瑞 穂)	浅 野 秀 直 (尾 張 旭)
新 谷 雅 樹 (名 古 屋 北)	大 竹 薫 (尾 張 旭)
石 原 吉 三 郎 (豊 橋)	加 藤 富 子 (尾 張 旭)
天 野 道 造 (名 古 屋 大 須)	飯 田 幸 雄 (尾 張 旭)
安 部 公 也 (名 古 屋 大 須)	畠 山 守 成 (田 原)
堀 田 弘 (名 古 屋 大 須)	花 田 邦 司 (豊 橋)
森 岡 秀 夫 (知 多)	井 戸 春 幸 (豊 田 西)
梅 村 東 (豊橋ゴールデン)	杉 浦 保 明 (豊 田 西)
神 谷 研 (碧 南)	東洋工業 (株) (豊 田 西)
栗 津 良 一 (碧 南)	野々山 鏈 治 (豊 田 西)
山 中 寛 三 (碧 南)	(株) あつみ (豊橋ゴールデン)
石 田 銑 一 (犬 山)	

おめでとうポールハリスフェロー12月分

佐 藤 正 俊 (名古屋守山)	小 柳 和 之 (尾 張 旭)
高 橋 謙 一 (名古屋東南)	土 田 勇 (")
梅 田 美 子 (春 日 井)	成 瀬 茂 行 (")
天 野 正 英 (名古屋空港)	丹 羽 敬 (")
加 藤 克 己 (")	松 下 洋 一 (")
喜 多 勇 (")	酒 井 孝 (一 宮)
安 藤 公 爾 (尾 張 旭)	岩 田 富 雄 (")
伊 藤 全 (")	近 藤 康 治 (岡 崎)
川 原 純 哉 (")	



稲沢ロータリークラブ

直通電話とFAXを設置しました。

TEL 0587 (24) 0740

FAX 0587 (24) 0740

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

12月29日	山崎 一夫君 (一色RC)	1月8日	牧野 源治君 (豊橋北RC)
1月8日	杉野 周吉君 (名古屋北RC)	1月18日	小谷 徳郎君 (刈谷RC)

第276地区

出席報告

1991年1月分

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'90年 7月1日	当 月	増 減					'90年 7月1日	当 月	増 減
尾張第一分区	知 多	100.00	4	39	44	+5	西尾張分区	あ ま	100.00	4	91	92	+1
	半 田	98.16	4	69	71	+2		尾 西	96.72	3	60	61	+1
	半 田 南	98.77	3	53	56	+3		一 宮	98.15	3	94	96	+2
	東 知 多	95.67	4	52	53	+1		一 宮 北	97.47	3	83	83	0
	常 滑	96.36	3	63	66	+3		稲 沢	98.36	4	61	62	+1
	東 海	96.87	4	60	64	+4		西春日井	95.73	3	65	65	0
	計	97.64		336	354	+18		尾張中央	99.48	4	48	48	0
名古屋第一分区	名 古 屋	94.56	3	246	249	+3	三河第一分区	津 島	99.27	3	94	97	+3
	名古屋南	98.47	4	117	128	+11		一宮中央	97.13	4	0	61	+61
	名古屋港	100.00	3	120	121	+1		計	98.03		596	665	+69
	名古屋瑞穂	100.00	4	90	92	+2		渥 美	92.67	4	63	65	+2
	名古屋中	99.65	4	146	148	+2		蒲 郡	96.43	3	79	81	+2
	名古屋西	94.99	4	163	162	-1		奥 三 河	93.65	3	43	44	+1
	名古屋大須	99.45	4	86	91	+5		新 城	97.21	3	59	61	+2
	名古屋栄	96.07	4	52	66	+14		田 原	97.01	3	69	70	+1
	名古屋東南	100.00	4	93	99	+6		豊 橋	99.13	4	126	125	-1
	計	98.13		1,113	1,156	+43		豊橋ゴールデン	100.00	4	63	70	+7
名古屋第二分区	名古屋千種	98.00	3	65	67	+2	三河第二分区	豊 橋 北	98.42	3	117	116	-1
	名古屋東	98.84	4	115	111	-4		豊 橋 南	98.20	3	81	84	+3
	名古屋北	100.00	3	107	108	+1		豊 川	95.33	4	81	82	+1
	名古屋名北	100.00	4	66	70	+4		豊川宝飯	97.74	3	57	60	+3
	名古屋名東	100.00	3	69	69	0		岡原パシフィック	99.18	3	0	53	+53
	名古屋守山	96.22	4	97	98	+1		計	97.08		838	911	+73
	名古屋和合	100.00	4	105	109	+4		安 城	99.45	3	80	82	+2
	計	99.01		624	632	+8		碧 南	99.33	4	75	79	+4
東尾張分区	犬 山	100.00	3	83	87	+4	三河第二分区	一 色	100.00	4	52	49	-3
	岩 倉	95.99	3	42	43	+1		刈 谷	100.00	4	98	83	-15
	春 日 井	99.62	3	86	89	+3		西 尾	99.20	3	87	87	0
	小 牧	100.00	4	70	70	0		岡 崎	100.00	4	101	107	+6
	江 南	95.79	4	75	71	-4		岡 崎 東	100.00	4	79	81	+2
	名古屋空港	100.00	4	71	72	+1		岡崎城南	99.53	3	67	71	+4
	尾 張 旭	100.00	4	63	62	-1		岡 崎 南	99.63	3	88	97	+9
	瀬 戸	99.10	4	81	84	+3		高 浜	100.00	3	51	49	-2
	瀬 戸 北	100.00	3	58	60	+2		豊 田	99.44	4	90	99	+9
	豊山城北	98.59	3	74	73	-1		豊 田 東	98.82	4	82	86	+4
	計	98.91		703	711	+8		豊 田 西	97.12	4	97	98	+1
								豊田三好	100.00	4	26	26	0
								計	99.47		1,073	1,094	+21
地区内クラブ数 67RC				'90.7.1 会員数		5,283名	増 加 会 員 数		283名				
				当月末会員数		5,523名	減 少 会 員 数		33名				
				当月平均出席率		98.32%	差引純増会員数		240名				

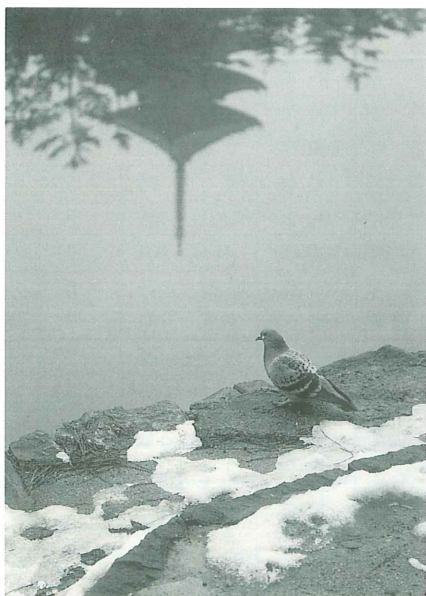
文庫通信 (第41号)

このたびは、過去半年間に登録された文庫資料の中から下記の下記の10点をご紹介します。

- 「新編 ようこそロータリーへ」 (付・女性会員問題について) 佐藤千尋 1990年 87頁
〔東京江北RC ☎03-3633-8744〕
- 「長崎ロータリー わすれなぐさ 新会員のために」 長崎RC 1990年 42頁
〔☎0958-21-1009〕
- 「ロータリー用語便覧 (増補版)」 D.272 1990年 58頁 〔☎0966-24-6665〕
- 「ロータリー情報 参考ノート」 羽生RC 1990年 59頁 〔☎0485-61-3111〕
- 「今ロータリーは何を求められているのか」 小堀憲助 1990年 16頁
〔八幡浜RC ☎0894-24-3454〕
- 「インターアクトとは (第三版)」 伊藤逸夫 1990年 38頁 〔宅☎0898-64-2384〕
- 「地球は今そして未来は」 伊藤逸夫 1990年 197頁 〔宅☎0898-64-2384〕
- 「地球環境の現況と保全対策」 岡村俊一 1990年 33頁
〔鹿児島RC ☎0992-22-6527〕
- 「国際親善活動事例集」 D.255 1990年 58頁 〔☎0296-25-2700〕
- 「我が自叙伝 (改訂版)」 ハーバート・J・テラー 菅野多利雄訳 1990年 219頁
〔宅☎022-367-3711〕
- 〈注. [] = 問合わせ先〉

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 a b c 会館 7階
(☎ 03-3433-6456 / FAX 03-3459-7506)
午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



奈良 猿沢の池にて

昭和63年作。自宅にて。
庭前に三本の姫沙羅の木がある。「夏椿」とも云われるこの花は、清楚で可憐である。古来、文人、茶人に好まれている。六月に白い花をつけるが、散りぎわもまた見事である。冬は一枚の葉もつけない。裸木の「ひめしやら」にも何かしら艶を感じずにはいられない。「先きから尖」は針のような尖端を詠んで見たいという願いから得られた表現。

細枝の先きから尖へ沙羅の雪
繁男

かばな一歳時記